

型 式 UF-A110 □□

# 循環金具(無極性タイプ) UF-A110シリーズ

## 設置工事説明書



### 注意

#### ■工事をされる方へのお願い

- ・機器を正しく安全に使用していただくため、この設置工事説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。
- ・給湯器または熱源器の設置工事説明書も併せてお読みください。
- ・この設置工事説明書に記載されている以外の設置が原因で生じた故障および損傷・人身事故などは、工事者の責任となります。また、保証期間内でも保証の対象なりません。
- ・専用の漏れ検査治具を使用して、追焚配管の漏れ検査を必ず行ってください。
- ・循環金具の角部や突起で手指などにけがをしないよう注意してください。
- ・循環金具からは、高温水(60~80℃)が出る場合がありますので注意してください。
- ・強酸性の洗剤、塩素系のカビ洗浄剤や塩素系の清浄剤は部品をいためる恐れがありますので使用しないでください。

#### ■循環金具の配管接続方法

- ・この循環金具には行き・戻りの指定はありません。(無極性タイプ)
- ・各型式の配管接続方法は下記のように異なります。

循環金具の型式	接続タイプ
UF-A110SQ・UF-A110LQ・UF-A110AU	10Aホースエンド接続
UF-A110SS・UF-A110LS	3/8銅管ロー付け接続
UF-A110SP・UF-A110LP	G1/2ねじ接続
UF-A110LUP	R1/2ねじ接続

#### ■梱包部品

- ・上記の型式の梱包内には本紙とフィルタ掃除ラベルの他に下記取付図に示す部品が入っています。取り付けの前にご確認ください。
- ・また次の型式については、その他に下の部品が入っています。

部品名	個数	型式
ロー付けジョイント	2	UF-A110SS・UF-A110LS
パッキン	2	UF-A110SS・UF-A110LS・UF-A110SP・UF-A110LP・UF-A110LUP

#### ■取付図

- ・この製品本体は組み付けられています。
- ・取り付けの前に下記部品を確認してください。
- ・リングと段付パッキンは取り外さないでください。
- ・現地設置の際、部品の紛失を防止するため浴槽の排水栓を締めてください。

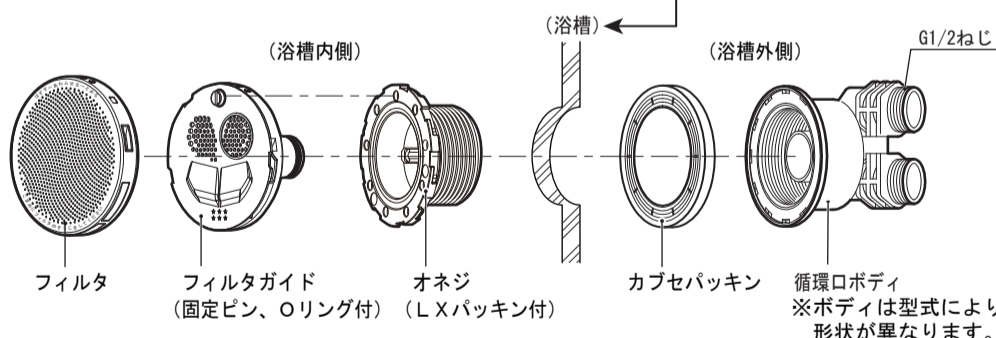
- ・この循環金具は浴槽肉厚15mm以下用です。
- 15mm以上の場合は別売の厚肉浴槽ジョイントを使用してください。  
(浴槽肉厚15~30mm...UF-A1130 厚肉浴槽ジョイント30)  
(30~45mm...UF-A1145 厚肉浴槽ジョイント45)

#### 付属品

フック棒(樹脂)	1	フィルタ掃除ラベル	1
締付工具	1	設置工事説明書(本紙)	1
必ずお客様にお渡しください。			

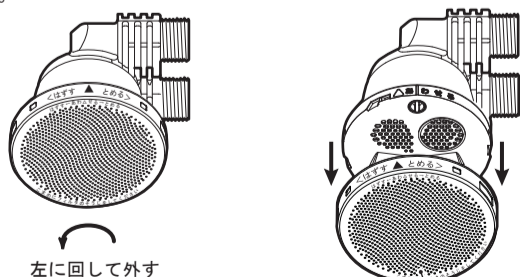
※フック棒(樹脂)・締付工具以外は組み付けられています。

FRP製の浴槽等浴槽外面に凹凸がある場合は、サンドペーパー等で浴槽外面に凹凸がないように仕上げ処理をしてください。



#### ■分解方法

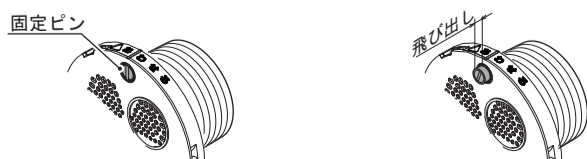
①フィルタを左に回して取り外してしてください。



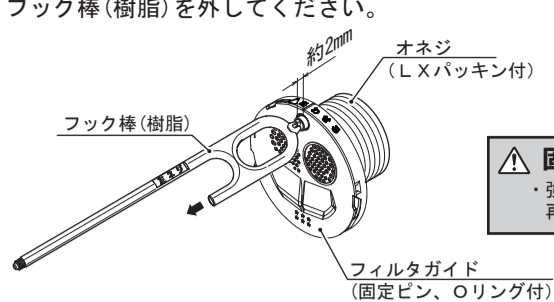
②フィルタガイドの固定ピンのロックを「OFF」状態にしてください。

固定ピンのロック「ON」  
(固定ピンが突出していない)

固定ピンのロック「OFF」  
(固定ピンが突出している)

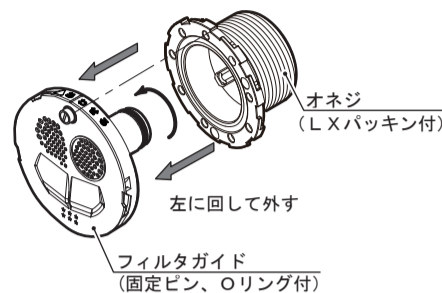


・先端ピンセット部を差込み、軽く引き固定ピンの頭部が2mmほど飛び出した状態にした後、フック棒(樹脂)を外してください。



⚠ 固定ピンはフィルタガイドから外さない  
・強く引張ると外れます。外れた場合は押し込んで、再度取り付けてください。

③フィルタガイドを左に回しオネジから取り外してください。



⚠ LXパッキン・Oリングの紛失に注意

⚠ Oリング部にゴミ、ホコリ等の付着なきこと

⚠ 固定ピンはフィルタガイドから外さない  
・強く引張ると外れます。外れた場合は押し込んで、再度取り付けてください。

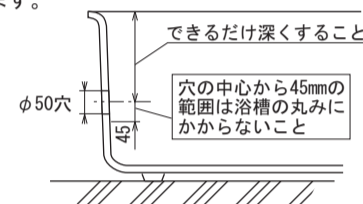
#### ■施工方法

##### 1. 浴槽の穴あけ

浴槽下部の丸みにかからないような出来るだけ低い位置にφ50mmの穴を1ヶ所あけ、バリをきれいに取ってください。  
注1) φ50mmの穴の中心から45mmの範囲が平面となる場所を選んでください。丸みのある場所へ循環金具を取り付けると、水漏れする恐れがあります。

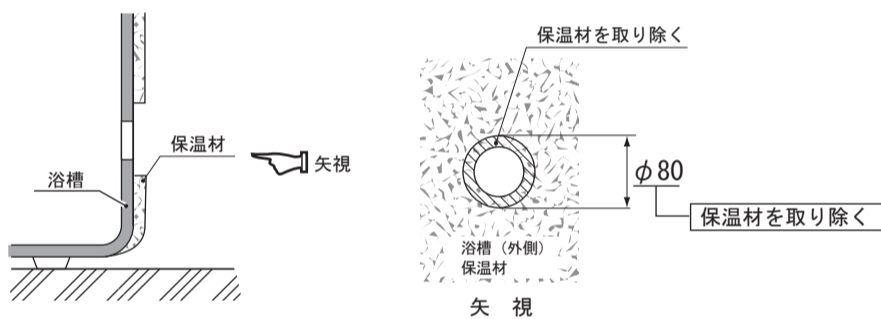
注2) 浴槽のできるだけ低い位置に穴をあけてください。高い位置への循環金具の取り付けは、温度ムラの原因となります。

注3) FRP製の浴槽等浴槽外面に凹凸がある場合は、サンドペーパー等を使用して取付面に凹凸がないように仕上げ処理をしてください。取付面に凹凸があると、水漏れする恐れがあります。



注4) 外面が保温材で仕上げた浴槽の場合は、取付面の凹凸の仕上げ処理を可能な範囲まで行ってください。

注5) 浴槽の外側に保温材があるものは、直径80mmの範囲内を丁寧に取り除いて平面を確保してください。

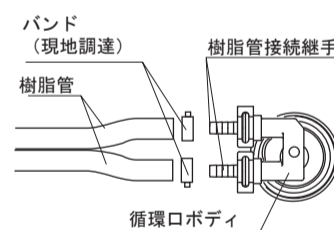


⚠ バリ、浴槽の外側の保温材を丁寧に取り除くこと  
・取り忘れがあると漏水の原因となります。

##### 2. 循環金具とおいだし配管の接続

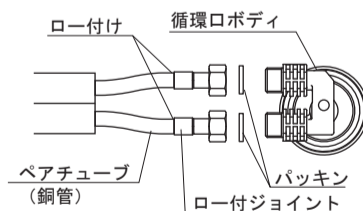
###### ホースエンド接続タイプの場合……樹脂管との接続

- ①循環金具を分解してください。
- ②循環ロボディと樹脂管を接続してください。(バンドは現地調達)  
循環ロボディから樹脂管接続継手を取りはずさず、設置場所の状況に応じて取りはずして使用してください。



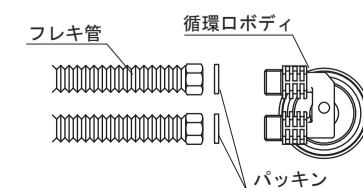
###### ロー付け接続タイプの場合……ペアチューブ(銅管)との接続

- ①循環金具を分解してください。
- ②ロー付けジョイントとペアチューブ(銅管)をロー付け接続してください。  
注) ロー付けは、循環ロボディにロー付けジョイントを取り付ける前に行ってください。循環ロボディにロー付けジョイントが取り付けられた状態でロー付けをすると、循環ロボディやパッキンを傷め、水漏れの原因となります。
- ③循環ロボディにロー付けジョイントをしっかりと [20N・m (約200kgf・cm) 程度] 固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1回転程度右へ回してください。  
注) 必ず付属のパッキンを取り付けてください。



###### ねじ接続タイプの場合……フレキ管との接続

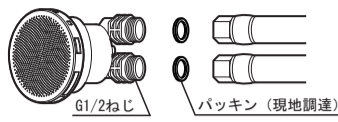
- ①循環金具を分解してください。
- ②循環ロボディにフレキ管をしっかりと [20N・m (約200kgf・cm) 程度] 固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1回転程度右へ回してください。  
注) 必ず付属のパッキンを取り付けてください。



●配管の取り付け

- ・ロー付け接続やねじ接続(G1/2)タイプの循環金具と配管の接続は、必ずパッキン(現地調達)を使用してください。パッキンを使用しないと漏水の原因となります。
- ・テーパーねじ(シールテープでの)接続は、G1/2ねじ部が破損し漏水の原因となります。

【ご注意】 配管完了時に各部分のゆるみがないか再度確認してください。(特に銅配管をR曲げた場合)

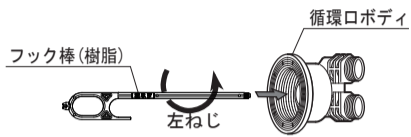


⚠ テーパーねじとの組み合わせ禁止  
⚠ G1/2ねじ締付トルク:20N・m(約200kgf・cm)

- 上記のトルクを超えない様にねじ込んでください。  
目安: ノンアスパッキン 手締め後約1/3回転  
ゴムパッキン 手締め後約1回転
- この循環金具は、行き・戻りの指定はありません。(無極性)

3. 循環金具の取り付け

①循環ロボディの中の左ネジ部にフック棒(樹脂)を取り付けてください。(左ねじになっていますので、左に回して取り付けてください)

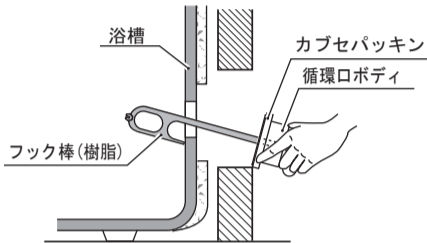


●フック棒(樹脂)の握り方

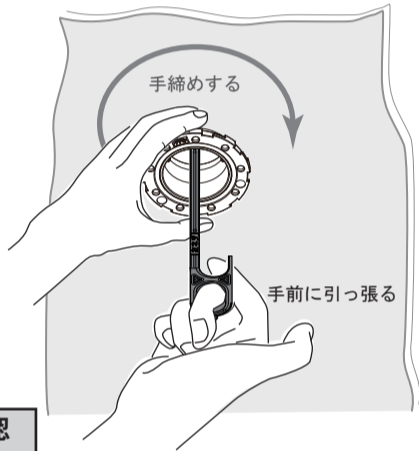
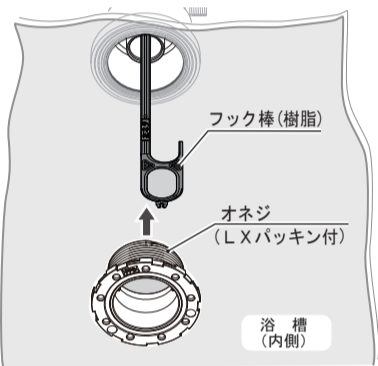


⚠ 締め込み過ぎに注意

②浴槽の穴にフック棒(樹脂)のU型部分を引っかけます。



③浴槽側からフック棒(樹脂)を引き寄せ、オネジ(LXパッキン付)を通し、オネジを循環ロボディに手締めしてください。

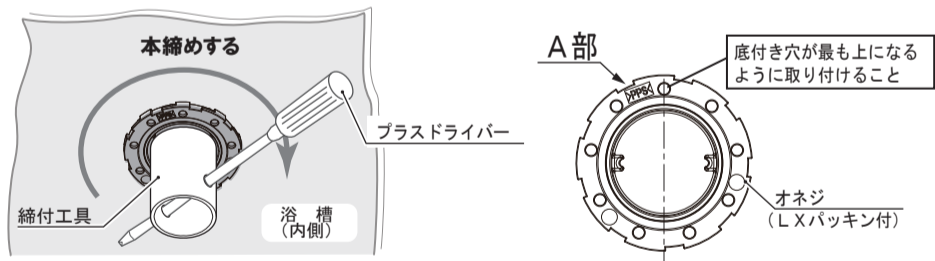


⚠ LXパッキンが取り付けられていることを確認  
・LXパッキンがないと漏水の原因となります。

④フック棒(樹脂)を右に回して取りはずしてください。

⑤付属の締付工具をオネジに差し込み、右に回してしっかりと [14.7N・m (約150kgf・cm) 程度] 固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1/2回転から3/4回転程度右へ回してください。プラスドライバーを締付工具の横穴に差し込むと便利です。

※締付工具は使いきりタイプですので同梱されている物を使用してください。



- ⚠ しっかりと締め付けること  
・締め付け不足は漏水の原因となります。
- ⚠ 必ず底付き穴が真上あること  
・循環金具が真正面を向きません。
- ⚠ 逆回転(左回し)で位置を調整しないこと
- ⚠ ドライバーの先端で浴槽を傷つけないこと

注1) オネジの9個ある底付き穴のいずれかが、最も上になるように取り付けてください。

注2) オネジの締付不足は水漏れの原因となります。  
また、オネジが手で軽く回らない状態になってからはオネジを1回転以上回さないでください。オネジや循環ロボディが破損して水漏れする恐れがあります。

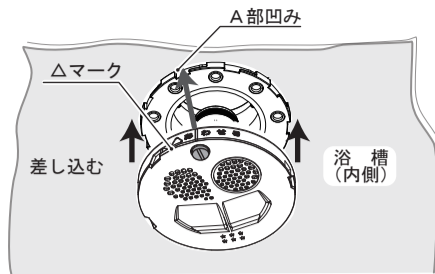
注3) LXパッキンが変形してオネジからはみ出していないことを確認してください。  
LXパッキンが変形してオネジからはみ出した場合は、一度オネジを取りはずし、再度締め付けてください。(LXパッキンを水でぬらすとはみ出しにくくなります)

4. 漏れ検査

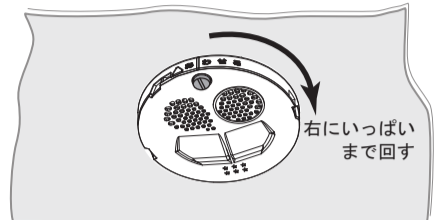
- 専用の漏水検査治具 (UF-1000WPSまたはUF-800WPS) を使用して、おいただき配管の漏れ検査を必ず行ってください。  
(取付方法・検査方法についてはUF-1000WPSまたはUF-800WPSの取扱説明書をご覧ください)
- 浴槽の外側(循環ロボディ側)の水漏れがないことを確認してください。
- 検査は水圧200kPa(約2.0kgf/cm<sup>2</sup>)・30分間です。  
(300kPa(約3.0kgf/cm<sup>2</sup>)以上加圧しないでください。また、機器本体を通じての加圧はしないでください)

5. フィルタガイド・フィルタの取り付け

①フィルタガイド上部の△マークを、A部凹みに合わせてはめ、フィルタガイドを右に回して取り付けてください。(15°)



⚠ フィルタガイド裏のツメ3ヶ所が  
きっちりオネジにはまっていること



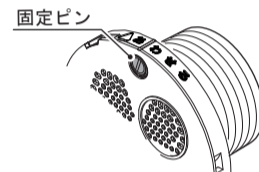
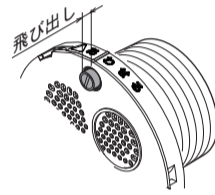
⚠ しっかり右に回し締め付けること  
・ゆるいと固定ピンが押し込めません。

※フィルタガイドを引張って簡単にはずれる場合は、フィルタガイドが正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。  
また、上記以外の位置で取り付けたら、ふろの沸き上がり温度が上下均一になりませんのでご注意ください。

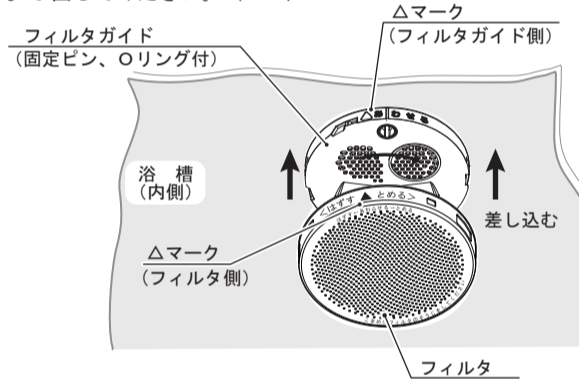
②固定ピンを押し込んでロックを「ON」状態にしてください。  
※固定ピンの頭が飛び出しているとフィルタの取り付けができません。

固定ピンのロック「OFF」  
(固定ピンが突出している)

固定ピンのロック「ON」  
(固定ピンが突出していない)

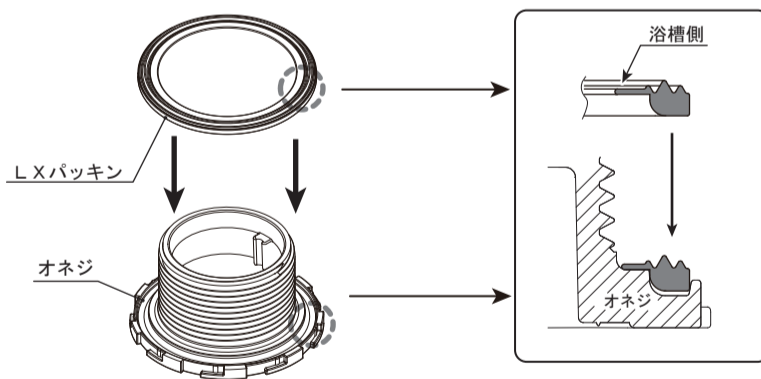


③フィルタの△マーク位置をフィルタガイド上部の△マークに合わせてはめ込んでから、右に止まるまで回してください。(15°)



LXパッキンの取り付け方

オネジからLXパッキンが外れてしまった場合は、LXパッキンの向きに注意しオネジにハマ込んでください。

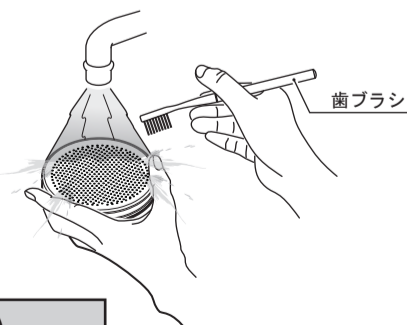


⚠ LXパッキンの向きに注意

フィルタのお手入れ

フィルタを左に回して手前に引いて外し、前面(穴部)に付いている汚れを、歯ブラシなどを使って洗ってください。

※掃除後は元どおりに取り付けてください。



⚠ フィルタをごまめに掃除してください  
・フィルタが詰まると正常にお湯張りや追焚きができなくなるおそれがあります。

お願い: この設置工事説明書は工事終了後に必ずお客様にお渡しください。